

新連載

ホームページで情報発信

H
O
M
E

P
A
G
E



ホームページ制作の流れ

インターネット上で見られるホームページは、HTML**ファイルによって作られています。グラフィックやサウンドがあれば、それらのファイルも用意します。これらのファイルを、WWWサーバープログラムのあるコンピュータのディスクに収めることで、他の人がそのファイルを見る、すなわちホームページを表示することができるようになります。そこで、具体的な制作の流れは、図①のようになります。

まずHTMLファイルや画像ファイルを作成し、自分のコンピュータ上でそれを確認、OKになったらWWWサーバーにファイルをアップロード***し、アップロードしたファイルが思ったとおりに見えるかどうかをさらに確認します。作業はこの繰り返しです。

HTMLを書くのに必要なもの

HTMLファイルはテキストファイルですからワープロやエディターがあれば、HTMLを書くことができます。誰でも持っているWindowsのライトや、MacintoshのSimpleTextでもいいのです。使い慣れたワープロやエディターがあれば、もちろんそれらを使えばいいでしょう。

ただしワープロでは、普通に保存した場合にはワープロ独自のファイル形式になることが多いので、テキストファイルとして保存する必要があることに注意してください。

さて、HTMLを書くだけならばこれで準備OKですが、書いたHTMLがどのように表示されるかを確認しなければなりません。そのために、WWWブラウザが当然のことながら

川添 歩（かわぞえあゆむ）
アクセス株式会社 <http://www.axes.co.jp/>

第1回 HTMLの初歩

インターネットに接続してネットサーフィンを楽しんでみると、今度は自分のホームページを作って公開したいと思う方は多いのではないのでしょうか。本連載では、そのような場合のホームページ作成法について、すなわちファイルの作成の仕方、リンクの仕方、デザインの仕方などを中心に解説していきたいと思います。技術的なことばかりでなく、どのようなものを載せるのか、いわゆる「コンテンツ」についても考えていきたいと思います。

必要となります。現在はNetscapeが主流ですから、まず何はなくともNetscape。

Netscapeの正式版は、WindowsやMacintoshでは現在のバージョンが1.1xですが、2.0のベータバージョンも公開されています。1.1xと2.0では、利用できるHTMLの様子がやや異なるので、できればこれら2つのバージョンを揃えておきましょう。

また、より多くの人に見てもらうためには、どんなブラウザでも自分の意図に近い表示がされるように作っておくほうがいいわけです。HTMLファイルはWWWブラウザによって多少異なった表示の仕方がされてしまうので、確認のためにNetscape以外のWWWブラウザも少なくとも1つは用意しておきましょう。

HTMLというもの

それでは、まずHTMLファイルとはどのようなものかを見てみましょう。

図②がHTMLファイルで、それをWWWブラウザで表示すると、図③のようになります。

これはインプレスのページ (<http://www.impress.co.jp/>) ですが、他のページでも、そのページのHTMLがどのようになっているかを見なければ、ブラウザのメニューからソース(表示しているページのもととなるHTMLのこと)を見る項目を選んでください。たとえばNetscapeではViewメニューからSource(またはDocument Source)を選びます。

ブラウザの表示とHTMLを見比べてみると、なんとなくHTMLというものがわかってくるのではないのでしょうか？

タグ

図③を見ると、図②のテキストのうち「<」と「>」に囲まれている部分は表示されていないことがわかります。この部分を、タグといいます。タグはWWWブラウザにさまざまな指示をするためのものです。

文字の修飾やグラフィックファイル、それに他のページへのリンクなどの指示が、タグによって行われます。WWWブラウザはそれらの指示に従って表示をします。

さらにタグをよく見ると、対になっていることがわかります。< >と</ >の対です。つまり、タグによる指示の範囲を示しているわけです。また、対にならない単独のタグもいくつか存在します。

基本的なタグ

さて、それでは基本的なタグについて説明しましょう。図④は非常にシンプルなHTMLで、これをブラウザで表示してみたのが図⑤です。

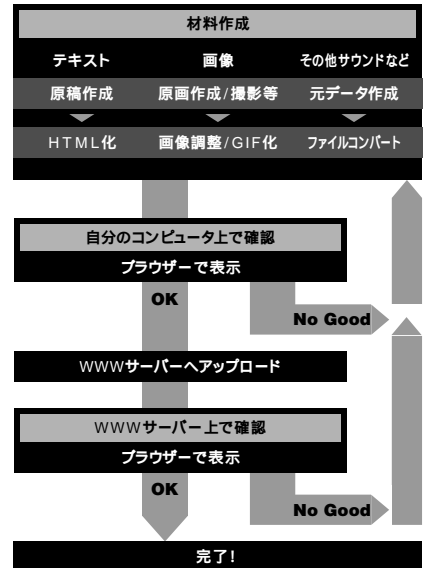
図④にあるタグは<HTML>、<HEAD>、<TITLE>、<BODY>の4種類です。それぞれのタグがWWWブラウザに何を「指示」しているのかを見ていきましょう。

<HTML>

ごらんとおり、これはHTMLである、という指示以外の何物でもありません。

「WWWブラウザに表示させるんだから、そりゃHTMLに決まってるだろう。なんでわざわざこんな指示をしなけれは(い)けないの」と思われますか？まあおっしゃるとおりで、たいいのブラウザでは、このタグがなくても開

① ホームページ作成の流れ



② インプレスのページのHTML

```

<HTML>
<HEAD>
<TITLE>Impress Group Information
Server</TITLE>
</HEAD>
<BODY BGCOLOR="#FFFFFF">
<CENTER>
<A HREF="/cgi-
bin/imagemap/map/home.map"><IMG
SRC="home.gif" WIDTH=468 HEIGHT=205
BORDER=0 ALT="Impress Group Information
Server" ISMAP></A>
<HR SIZE=5>
<H2>インプレスクループ<BR>
インフォメーション・サーバーによるこそ</H2>
  
```

③ インプレスのページのHTMLをブラウザで表示してみたところ



* ホームページ

ホームページという言葉は、WWWページを全般的に表すこともあれば、自分のパーソナルなページをさすこともあります。また、あるWWWサーバーページのうち最初に表示されるページ、WWWブラウザのホームボタンを押すと表示されるページなどをさすこともあります。本連載では、自分の作るパーソナルなページのことをホームページと呼ぶことにします。

** HTML

WWWブラウザで青い文字・下線の部分をクリックすると、他のページにジャンプします。このように、テキストの中で、他のページへリンクするしくみのことを、ハイパーテキストとい

います。テキストの中に表示のためのいろいろな指示を埋め込むことを、英語でマークアップ(markup)するといわれます。そしてマークアップされたファイルは、指定を含めたテキストの内容をWWWブラウザに伝えるための一種の「言語(Language)」であるといえます。HyperText Markup Language、略してHTML(エッチティエムエル)と呼びます。そしてHTMLに従って書かれたテキストファイルのことを、HTMLファイルと呼びます。

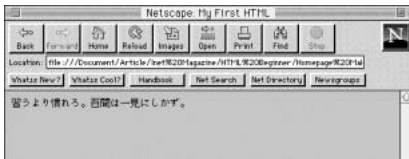
*** ファイルのアップロード

ファイルのアップロードの仕方は、本連載ではごく簡単にしか扱いません。本誌の1995年12月号に集中企画「ホームページ設置サービス活用法」として各プロバイダーごとの詳細な情報が掲載されているので、そちらを参照してください。

ホームページで情報発信

④ シンプルなHTML (上) と ⑤ その表示例 (下)

```
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>My First HTML</TITLE>
</HEAD>
<BODY>
習うより慣れる。百聞は一見にしかず。
</BODY>
</HTML>
```



⑥ 自分のディスクにあるHTMLファイルを開くメニュー



⑦ リロードするためのボタン (上) と ⑧ メニュー (下)



題はありません。しかしそうでない場合もあるので、ともかくファイルの先頭に<HTML>を、最後に</HTML>を入れておくほうが無難です。

<HEAD>と<BODY>

<HEAD>タグと<BODY>タグも、たいいていは省略しても表示には影響ありません。しかしやはり念のために入れておいたほうがいいタグです。

<HEAD>は本文以外の、このHTMLについての情報などを書いておく部分です。多くの場合、<TITLE>タグとセットで使われます。

<BODY>は文字どおり本文です。ブラウザで表示するものは<BODY>から始まり、</BODY>で終わるのが原則です。

<TITLE>

HTMLのタイトルを示します。たいいていのブラウザでは、このタグで囲まれた部分をブラウザのウィンドウタイトルとして表示します。<TITLE>タグがない場合は、HTMLファイル名がウィンドウタイトルになります。

またこのタイトルは、見る側がNetscapeなどのブラウザのブックマークにページを登録する際に、その名前として使われるので、あまり長すぎず、端的にページの内容を表す名前にしておくといでしょう。

HTMLファイル作成の実際

図④のHTMLファイルは、HTMLファイルのもっとも基本的なものです。各タグの意味がわかったところで、このファイルをまず作成して表示してみましょう。

入力と保存

エディターやワープロで図④のとおりに入力し、テキスト形式で保存します。

図④ではタグの名前を大文字で書いていますが、小文字で<title>のように書いてもかまいません。ただし見栄えが悪いので、大文字で書くか小文字で書くか、どちらかに統一

したほうがよいでしょう。

保存する際のファイル名には、決まりごとがあります。まず、ファイル名は終わりに「.HTML」または「.HTM」を必ずつけます。いわゆる拡張子です。MS-DOS (Windows 3.1) では「FIRST.HTM」といった名前をつけることとなります。Windows 95やMacintoshではファイル名の文字数の制限がゆるやかなので、「MyFirst Lesson.HTML」などとすることができます。大文字や小文字も自由に使えますし、拡張子を小文字にしてもかまいません。

ただし文字の種類は1バイトのアルファベットと記号で、1バイトのカタカナや2バイトの文字はファイル名には使わないでください。スペースなども使わないようにしてください。

ブラウザ

保存したHTMLファイルを見る (ブラウザする) には、WWWブラウザを使用します。WWWブラウザはインターネットに接続しなくても、自分のディスク上にあるHTMLファイルを表示することができます。

メニューの名前は多少異なる場合がありますが、たいいていファイルメニューに、HTMLファイルを開く項目が用意されています。図⑥はNetscape 2.0bの例です。これを選んで、保存したHTMLファイルを選択すれば、WWWブラウザのウィンドウにHTMLで指示した内容が表示されるはずですが。

- Netscape ではファイルメニューのほか、HTMLファイルアイコンをNetscapeアイコンにドラッグ&ドロップする
- HTMLファイルアイコンをNetscapeのブラウザウィンドウにドラッグ&ドロップするという方法でもHTMLファイルをオープンして表示することができます。特に後者は便利な方法です。

HTMLファイルの変更

WWWブラウザで表示してみてもかま

ところがあたり、内容を訂正・追加したい場合には、再びエディターでHTML ファイルを修正します。修正後に保存しますが、このとき同じ名前で同じ場所に保存（重ね書き）したのであれば、ブラウザでは再度ファイルをオープンするのではなく、リロード（reload = 再読み込み）するだけで表示が更新されます。WWW ブラウザーのボタンまたはメニュー（図⑦、⑧）でリロードすることができます。

エディターで書き、ブラウザで確認するという行為の繰り返しで、最終的に自分が望む

ようなページを仕上げていきます。メモリに余裕があれば、エディターとWWW ブラウザーを同時に起動して作業をすると効率的です。

コンテンツについて

ホームページを作りたいと思っても、いざ作るとなると「いったい何を載せたらいいだろう？」と考えてしまう人は、意外に多いのではないのでしょうか。「載せたいものが思いつかないのなら、別にホームページなんか作らなくてもいいんじゃない？」というのも真理ですが、なにも思いつかない人にも表現欲という

のは厳然として存在すると思います。

私もそうですが、絵や音楽、あるいはプログラムなど、他の人に見せられるような作品を作る才能はないし、かといってただ自己紹介だけ載せてもしょうがない、でもとにかく何かページを作りたいと思っている人はたくさんいるはずです。ネットサーフィンをして、さまざまな面白いページを見れば見るほど、そういう欲求は高まります。そんな欲求を満たすために、ホームページで発信する材料を発見し上手に料理をするコツを毎月のコラムで考えていきたいと思います。

一杯の珈琲から今日のランチまで

自分は文章を書くのも絵を描くのも苦手だし、たとえ書けたって大した情報を持つてゐるわけでもない。だから何も発信するモノがないと思ってる人。そういう人は、自分が本当はたくさんの情報を持っていることに気づいてないのかもしれない。

自分が少しでも興味を持っていることがあって、それについてはそこの人よりは詳しいという何かがあれば、それをページにしていけばいいのだけれど、さしあたって特にそういうものは自分は持ってないし、平凡な人生を歩んでいるという人。そういう人は、自分が本当は必ずしも平凡な人生を歩んでいるわけではないことに気づいていないのかもしれない。

Webのページは世界に開かれている。自分が作ったページは、世界中の人が見ることになる。自分がすでに持っている情報の質が、このことによってがらりと変わること気づいているだろうか。

Lunch Server というページが何人かの人によって作られている（<http://kao.ini.cmu.edu:5550/lunch.html>）。えらそうな名前だけれど、自分が食べたランチの内容をただ記述している、

それだけのページだ。職場の同僚や友だちが何を毎日食べてるかなんて、たいして興味のある内容ではない。でもそれが海の向こうの、「ただのアメリカ人」の毎日のメニューだったら、見てみたいと思わない？

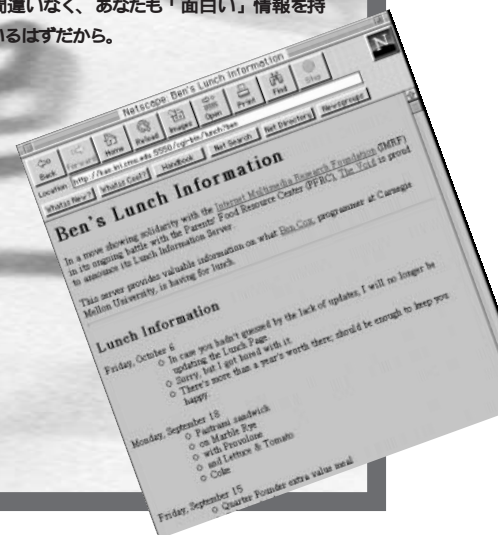
逆に、日本に住んでいるわれわれが、毎日どんなものを食べているのか、たぶんよっぽど日本通な人でなければ、ほとんどの外国人は知らないだろう。だからただ毎日ひたすら昼飯の記録をつけて、それをページにしていだけでも、実はそのまま日本の現在のわれわれの生活を伝える、面白いページになる。もちろん食べたものをデジタルカメラやビデオで撮って、画像をページにつければ、情報の量も質もぐんとアップする。

ただ、こういうことはあんまり欲張らないほうがいい。最初から欲張ると、挫折も早い。たとえ毎日1行でも更新されていくことが、リアルタイムでチープな情報を流せるインターネットの面白さだから。

ほんとにツマンナイ情報でも、インターネットに載せるだけで、文化や生活を共有していないはるかに遠くに住んでいる人にはすごく面白いこ

とになる。そしてその情報がまさに今を刻々と伝えるのであれば、面白さは倍増する。あのコーヒーメーカーがいい例だ。どこにでもある単なるコーヒーメーカーなのに、世界中から現在の状態を見ることができるといしかけを作っただけで、世界で最も有名なコーヒーメーカーになってしまった。

もう一度あなたの身の回りを見回してみよう。間違いなく、あなたも「面白い」情報を持っているはずだから。





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp